

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【公開番号】特開2009-113564(P2009-113564A)

【公開日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2009-021

【出願番号】特願2007-286736(P2007-286736)

【国際特許分類】

B 6 2 J 9/00 (2006.01)

B 6 2 J 23/00 (2006.01)

B 6 2 J 17/06 (2006.01)

【F I】

B 6 2 J 9/00 G

B 6 2 J 23/00 A

B 6 2 J 17/06

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月3日(2010.8.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

物入れとしてのポケット部(61)と、このポケット部(61)を車体に開閉可能に支持するヒンジ部(74)とが備えられている車両の物品収納構造において、

前記ヒンジ部(74)の回動中心を構成するヒンジ軸(83)は、上下方向に延びるように配置されていることを特徴とする車両の物品収納構造。

【請求項2】

前記ポケット部(61)は、底部(77)と、この底部(77)の側方に立設されている周壁(78)とからなり、上方に開いている開口部(76)を有することを特徴とする請求項1記載の車両の物品収納構造。

【請求項3】

前記ポケット部(61)は、ヒンジアーム(84)を介して前記ヒンジ部(74)に連結されていることを特徴とする請求項1又は請求項2記載の車両の物品収納構造。

【請求項4】

前記ポケット部(61)には、車体カバー(45)の意匠面の一部を構成する外装カバー(55)が取り外し可能に取り付けられていることを特徴とする請求項1、請求項2又は請求項3記載の車両の物品収納構造。

【請求項5】

前記車体カバー(45)には、前記ポケット部(61)が閉じられているときに、前記外装カバー(55)の上方を覆うカバー部材(53)が含まれてあり、車体を上方から見たときに、このカバー部材(53)の後縁は、車体前方に窪ませた凹部(85)を有することを特徴とする請求項4記載の車両の物品収納構造。

【請求項6】

前記ポケット部(61)に、水平方向で前記ポケット部(61)の開閉する方向には、前記ポケット部(61)にかかる荷重を分散させるポケット部支持部(102)が付設されていることを特徴とする請求項5記載の車両の物品収納構造。

【手続補正2】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0011**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0011】**

請求項5に係る発明は、車体カバーには、ポケット部が閉じられているときに、外装カバーの上方を覆うカバー部材が含まれており、車体を上方から見たときに、このカバー部材の後縁は、車体前方に窪ませた凹部を有することを特徴とする。

請求項6に係る発明は、ポケット部に、水平方向でポケット部の開閉する方向には、ポケット部にかかる荷重を分散させるポケット部支持部が付設されていることを特徴とする

。

【手続補正3】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0015**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0015】**

請求項3に係る発明では、ポケット部は、ヒンジアームを介してヒンジ部に連結されているので、ポケット部を開いた位置からさらに開かせることができになる。ポケット部をさらに開いたあとに開口するメンテナンス穴に手を差し込むことができるので、ポケット部の内方にメンテナンスを必要とする補機部品が配置されているときに、ポケット部に小物を入れたままでポケット部を取り外すことなく、補機部品のメンテナンスが可能となる。ポケット部を取り外す必要がなくなるので、車両前部のメンテナンス性を高めることができる。

【手続補正4】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0017**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0017】**

請求項5に係る発明では、カバー部材の後縁は、車体前方に窪ませた凹部を有するので、ポケット部を開くときに、凹部を有しない場合に較べて、ポケット部の開き角度が小さい角度であっても、ポケット部に設けた開口部の面積を広くとることができます。

ポケット部の開口部の面積を広くとることができるので、ポケット部に物を収納するとき及びポケット部から物を取り出すときの操作性を高めることができます。

請求項6に係る発明では、ポケット部に、ポケット部にかかる荷重を分散させるポケット部支持部が付設されている。ポケット部は、ヒンジ部とともにポケット支持部で支持されるので、ポケット部にかかる荷重を分散させて、ポケット部の支持強度を高めることができる。